

特集 化学工学におけるスタートアップ

我が国における持続的な発展において、スタートアップ企業に対する期待は年々高まっており、政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、特に近年では最先端の科学技術を応用したディープテック系スタートアップ企業が果たすべき役割が重要である。ITを活用した従来のテック系スタートアップ企業と比較して、ディープテック系は、資金調達や設備投資、人的資本の準備等、様々な課題を抱えている。今回の特集記事では、大学・研究機関のシーズ技術の社会実装、特に化学工学分野におけるディープテック系スタートアップ企業の事例や、官民による若手研究者サポート事業を紹介し、シーズ技術の事業化を検討している技術者・研究者の課題解決の一助としたい。

(編集担当：熱海良輔) †

| | |
|---|-------------------|
| ディープテック・スタートアップと化学工学 | 古山 通久 |
| ディープテック・スタートアップへの期待 | 馬場 大輔 |
| Planet Savers社の立ち上げとDirect Air Captureへの挑戦 | 伊與木 健太 |
| 3次元グラフェン「GMS」による電池革新 | 西原 洋知 |
| ペロブスカイト太陽電池（どこでも電源 [®] ）について | 金子 英樹・堀内 保 |
| アミン含有ゲルを基盤とした低エネルギー型CO ₂ 回収技術の開発と社会実装への展開 | 日種 隆敬・本田 竜太郎 |
| ファイトケミカルプロダクトによる未利用油を機能性素材と燃料へ変換する イオン交換樹脂法とその社会実装 | 加藤 牧子・廣森 浩祐・北川 尚美 |
| コンパクトで薬注レスなイオン除去技術による安全な水へのアクセス | 田中 厚志・望月 圭介 |

† Atsumi, R. 令和7・8年度化工誌編集委員(3号特集主査) 長岡工業高等専門学校 物質工学科